

結果報告書

第11回

九州アグロ・イノベーション -九州みどりの食料システムEXPO 2025-

農

農業資材・畜産・水産資材／スマート農業・畜産・水産／暑さ対策／
鳥獣被害対策・ジビエ利活用／草刈り・除草
【集中企画】養殖設備・技術

会 期 2025年9月17日(水)・18日(木) 10:00～16:00

会 場 マリンメッセ福岡 B館 主 催 JMA 一般社団法人日本能率協会

後 援 日本農業法人協会／九州経済連合会／福岡県農業会議／佐賀県農業会議／大分県農業会議／
JAグループ福岡／JAグループ鹿児島／JAグループ宮崎／九州経済産業局／日本貿易振興機構(ジェトロ)／
九州大学大学院農学研究院／福岡県／福岡市／九州農業成長産業化連携協議会／熊本県農業会議／
中小企業基盤整備機構 九州本部／農協観光九州支店



詳細はこちらから ▶ <https://agri-food.jma.or.jp/kyushu/>

九州アグロ



開催概要

名 称

第11回

九州アグロ・イノベーション -九州みどりの食料システムEXPO 2025-

農業資材・畜産・水産資材／スマート農業・畜産・水産／暑さ対策／鳥獣被害対策・ジビエ利活用／草刈り・除草
【集中企画】養殖設備・技術

会 期

2025年9月17日(水)・18日(木) 10:00～16:00

会 場

マリノメッセ福岡

主 催

一般社団法人日本能率協会

後 援

日本農業法人協会／九州経済連合会／福岡県農業会議／佐賀県農業会議／大分県農業会議／
JAグループ福岡／JAグループ鹿児島／JAグループ宮崎／九州経済産業局／
日本貿易振興機構(ジェトロ)／九州大学大学院農学研究院／福岡県／福岡市／
九州農業成長産業化連携協議会／熊本県農業会議／中小企業基盤整備機構 九州本部／農協観光九州支店

展示規模

173社／214ブース(前回実績：125社／163ブース) 同時開催展を含む

同時開催展

Hospitality & Food Week in 九州・沖縄

展示企画委員

2025年9月現在(順不同・敬称略) 部会委員含む

委員長

甲斐 諭 学校法人中村学園

顧問(中村学園大学 前学長、九州大学名誉教授)

副委員長

尾崎 行生 九州大学
小島 孝之 株式会社OPTiM／
佐賀大学

大学院農学研究院 教授
常勤監査役／
名誉教授

委 員

池畑 哲也 イオン九州株式会社

臼井 賢一郎 九州朝日放送 報道制作局
西山 宏人 一般社団法人九州経済連合会
岡安 崇史 九州大学 大学院農学研究院
大石 裕二 九州農産物通商株式会社
柳 健二 全国農業協同組合連合会福岡県本部
木之内 均 東海大学

コーポレートコミュニケーション本部エリア推進部
エリア政策担当部長

役員待遇 解説委員長
地域共創部 担当部長
教授
代表取締役
県本部長
熊本校舎・文理融合学部・経営学科
熊本キャンパス長
栄養科学部 フード・マネジメント学科 准教授
法人ソリューション部 主任調査役
報道センター 国際担当デスク兼記者
九州支部長／
代表取締役社長
次長 論説委員
農林水産部 次長
クロスインダストリー事業部 シニアマネージャー
九州支店 支店長
リスクマネジメント統括室 執行役員
専務理事 兼 事務局長
農政広報部 部長
企画課長

眞次 一満 中村学園大学
宮田 和浩 西日本シティ銀行
竹次 稔 西日本新聞社
前田 佳良子 一般社団法人日本食農連携機構／
セブンフーズ株式会社

田中 賢司 日本農業新聞 九州支所
山口 聡 福岡県
渡邊 勝吉 富士通Japan株式会社
角瀬 公哉 郵船ロジスティクス株式会社
上原 健一郎 ロイヤルホールディングス株式会社
岡本 光司 一般社団法人福岡県農業会議
宮原 喜明 福岡県農業協同組合中央会
内川 修 福岡県農林業総合試験場

来場登録者数

開催日	天 気	来場者数
9月17日(水)	晴れ時々雨	2,002名
9月18日(木)	雨のち晴れ	1,681名
合 計		3,683名

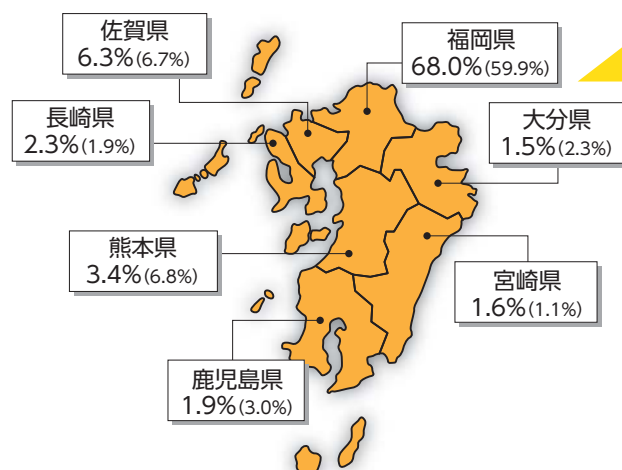
<定義>

- 1)「九州アグロ・イノベーションー九州みどりの食料システムEXPO2025ー」[Hospitality & Food Week in 九州・沖縄2025]2展の来場登録者数の合計。
- 2)会期中「1登録」につき1回のみカウント。

来場登録者集計結果

● 地域分布

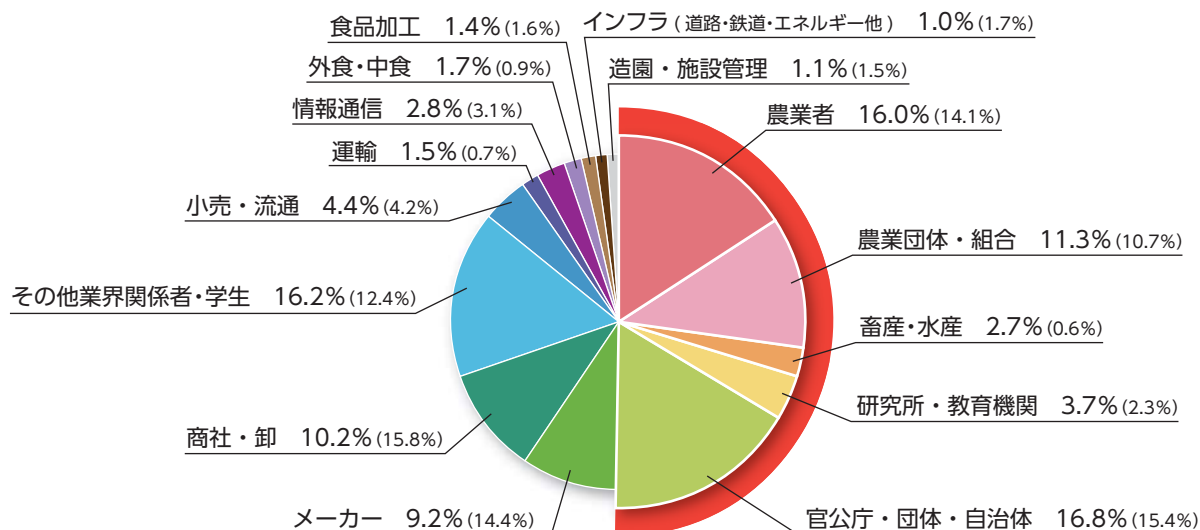
※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。



九州全体で 85.1% (81.7%)

九州以外の来場分布	
北海道	1.6% (0%)
東北	0.2% (—)
関東	3.8% (5.9%)
中部・北陸	3.6% (3.0%)
近畿	2.4% (2.0%)
中国・四国	3.2% (7.0%)
沖縄	0.2% (0.3%)

● 業種分布



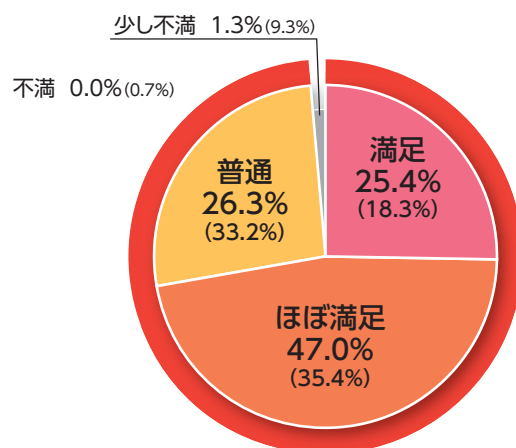
来場者アンケート集計結果

アンケート実施日：9月17日（水）・18日（木） 回答数：228

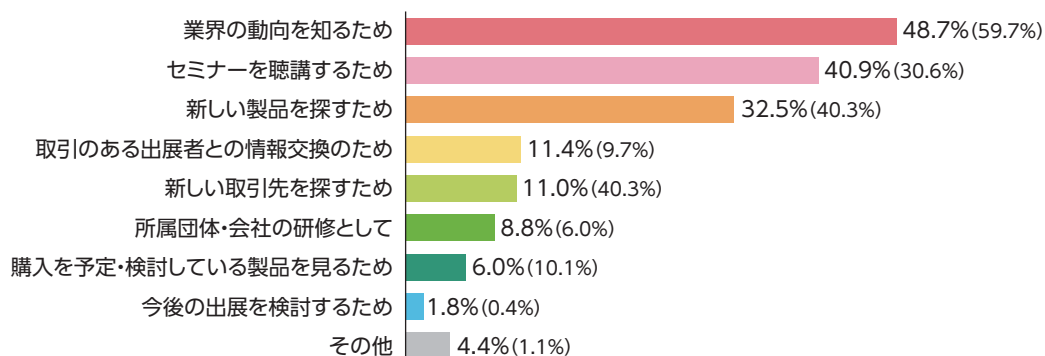
※（ ）内は前回実績

※少数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある

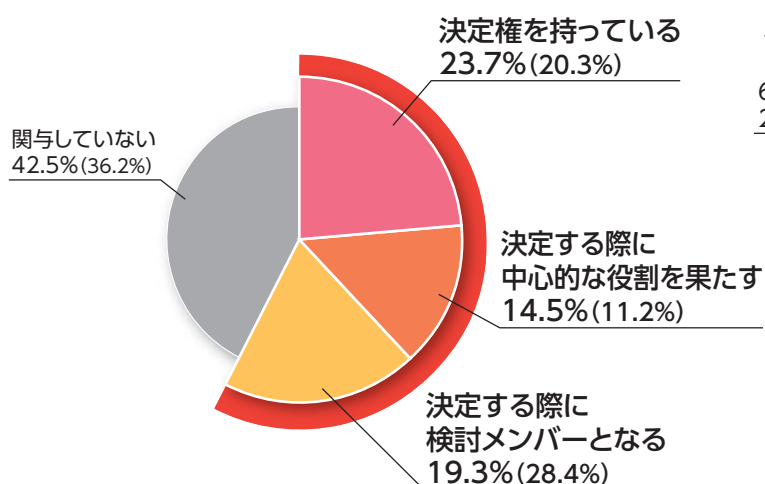
Q1 展示会全般に満足されましたか？



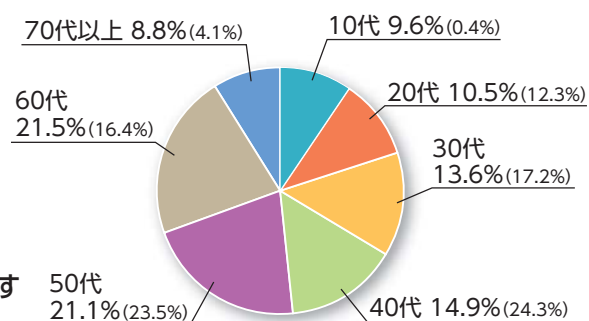
Q2 本展示会に来場された目的は何ですか？（複数回答）



Q3 あなたは商品の仕入れ・購入に際してどのように関わっていますか？



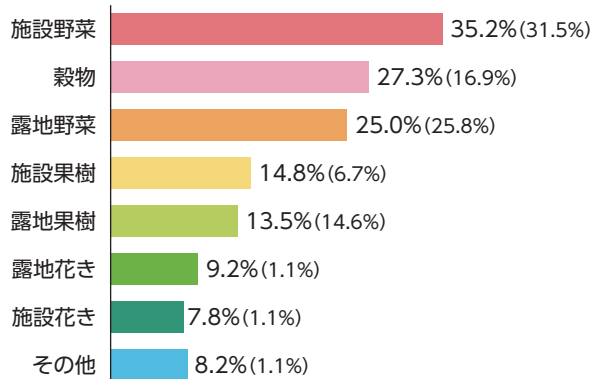
Q4 あなたの年齢は？



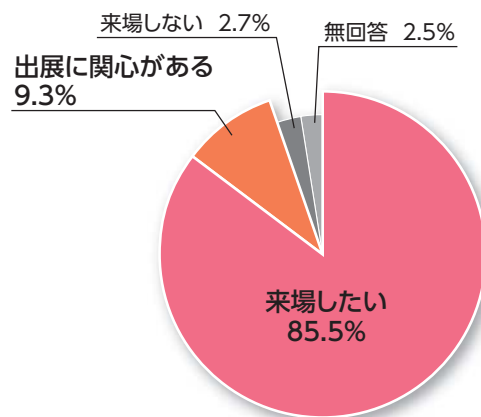
来場者アンケート集計結果

Q5 主な生産物は何ですか?(複数回答)

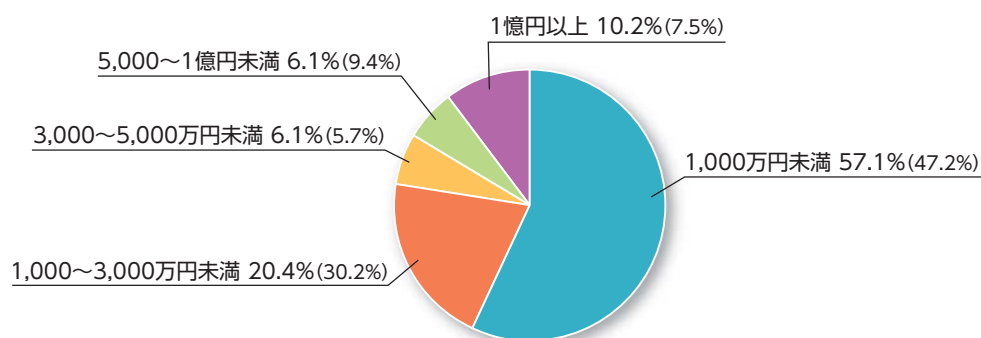
〈農業者〉



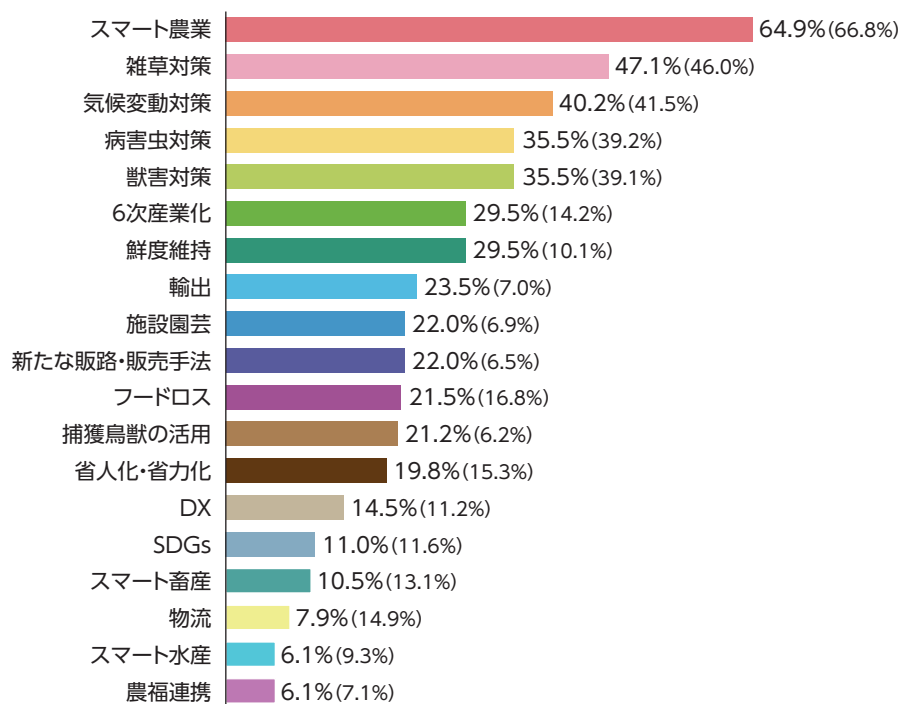
Q6 次回の来場予定についてお聞かせください。



Q7 現在の農産物販売金額について教えてください。



Q8 今、気になっているテーマ・キーワードは何ですか?(複数回答)



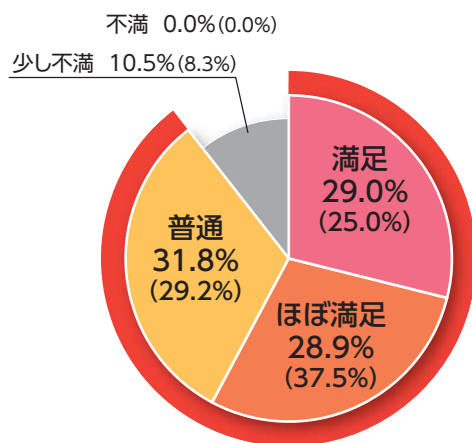
出展者アンケート集計結果

アンケート実施日：9月17日（水）・18日（木）

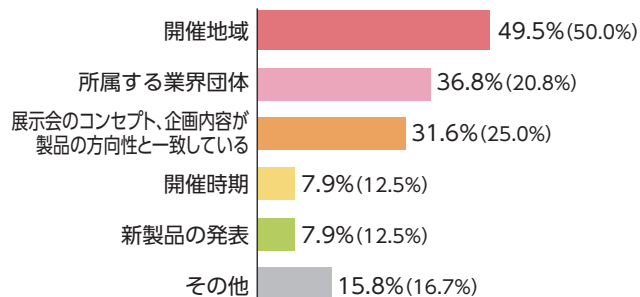
※（ ）内は前回実績

※少数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある

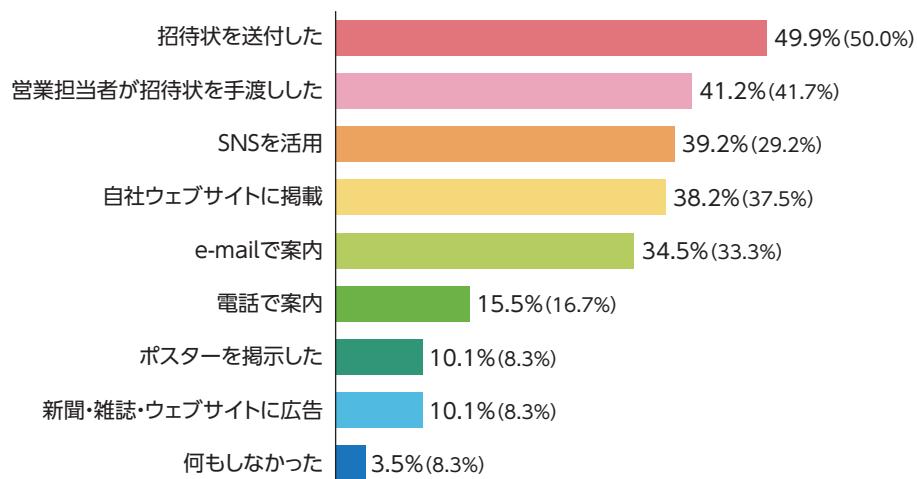
Q1 展示会に出展して満足されましたか？



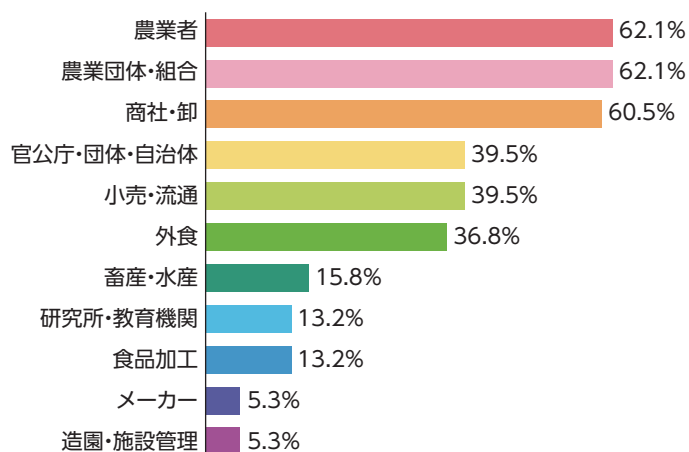
Q2 本展に出展した理由は何ですか？（複数回答）



Q3 事前にどのような来場動員活動をされましたか？（複数回答）

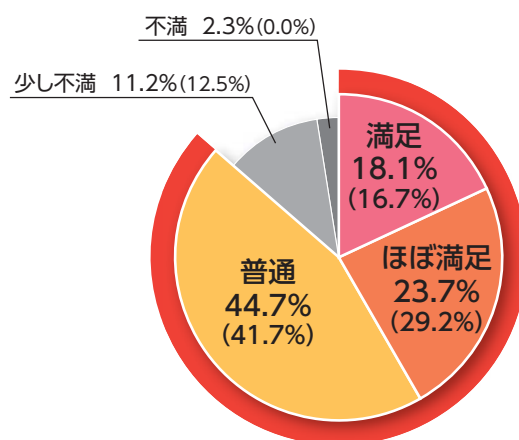


Q4 貴社がターゲットとしていた来場者の属性は何ですか？（複数回答）

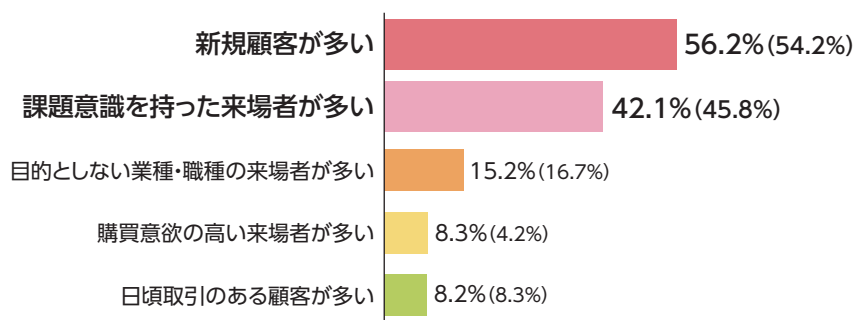


出展者アンケート集計結果

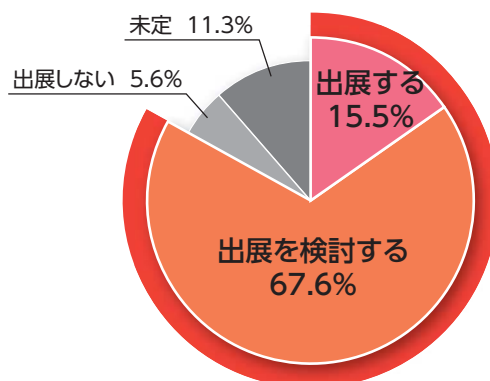
Q6 来場者の質(業種・職種)はいかがでしたか?



Q7 今回の来場者層についてお聞かせください。(複数回答)



Q8 次回の出展についてお聞かせください。



大好評!!

講演会

A会場

聴講者延べ人数

909人

9月17日(水)

(敬称略)

10:15 ▼ 10:55	M1 福岡市のスマート農業について	福岡市農林水産局 農業振興・イノシシ等対策担当課長 岡本 拓二	
11:10 ▼ 11:40	M2 イチゴの出荷調製作業の省力化に貢献! 自動選別パック詰め ロボット活用したスマート出荷体系の構築	「イチゴパックロボ」コンソーシアム 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター 中山間畑作園芸研究領域・領域長 曾根 一純	
11:50 ▼ 12:20	M3 データ駆動型農業に活かす植物センシング技術	九州大学 大学院 農学研究院 教授 岡安 崇史	
12:35 ▼ 13:15	M4 (仮)食料安全保障の確保と 農業の持続的な発展に向けて	九州農政局 局長 緒方 和之	
13:30 ▼ 14:10	M5 荒茶生産量日本一「かごしま茶」の振興と 最近の技術開発について	鹿児島県農業開発総合センター 企画調整部普及情報課 農業専門普及指導員 崎原 敏博	
14:25 ▼ 14:55	M6 農作業における労働力支援について	菜果野アグリ 営業担当 林 康平	
15:10 ▼ 15:40	M7 オプティムが取り組む農業DXについて	オプティム インダストリーDX本部 Agriコントラクター部 岸山 洋介	

9月18日(木)

(敬称略)

10:15 ▼ 10:55	F1 海のフォアグラ、無毒フグ肝の食用化を目指す ～外食産業の起爆剤に向けての活動～	長崎大学 総合生産科学域 教授 荒川 修		小川水産 代表取締役 小川 明秀		
11:10 ▼ 12:20	F2 パネルディスカッション 若い3名の農業就業者が希望と課題を語る	〈司会・コーディネーター〉 学校法人中村学園 顧問 (中村学園大学前学長、九州大学名誉教授) 甲斐 諭 	稲作経営 (福岡県糸島市) 株式会社井田 取締役 井田 和良 	野菜作経営 (福岡県小郡市) RUSH FARM 取締役 永利 佑太郎 	畑作経営 (鹿児島県肝属郡錦江町) 南州エコプロジェクト 取締役 大野 徹 	
12:35 ▼ 13:15	F3 みどりの食料システム戦略の実現に向けて	九州農政局 次長 本田 光広				
13:30 ▼ 14:10	F4 エフコープ生活協同組合における 産直事業の現状と課題	エフコープ生活協同組合 商品企画部 産直担当 松本 光秀		食品メーカーから見た 農業に対する要望とエール(仮)	フランソア 研究開発部 部長 堀内 寛之	
14:25 ▼ 14:55	F5 土地利用型農業におけるスマート農業の実践	遠藤農産 代表取締役 遠藤 幸男				
15:10 ▼ 15:40	F6 農業機械の未来	筑水キャニコム 代表取締役社長 包行 良光				

講演会

B会場

C会場

Hospitality & Food Week in 九州・沖縄 主催者セミナー

延べ **340** 名

(敬称略)

9月17日(水)

9月18日(木)

10:30 ▼ 11:15	A1 九州の食輸出協議会が支援する海外販路開拓と輸出経験談について(仮) 九州経済連合会 地域共創部 担当部長 九州の食輸出協議会 事務局長 西山 宏人 農林水産物・食品の輸出促進に係る支援について 九州農政局 経営・事業支援部 輸出促進課長 村中 大輝 九州経済産業局の輸出関連支援施策について(仮) 九州経済産業局 国際部 経済交流促進課 海外展開支援室係長 安藤 良樹		
11:35 ▼ 12:20	A2 黄綬褒章 受賞バーテンダー対談 「日本のお酒の魅力を世界へ」 Bar倉吉 オーナー 倉吉 浩二 京王プラザホテル 料飲宴会部 エグゼクティブアドバイザー 渡辺 一也		B2 台湾で飲まれる「日本酒・焼酎」 アジア市場のトレンドを探る 台湾・日本酒業界の巨匠 歐子豪 Michael Ou(マイケル・オー) 第6回世界唎酒師 コンクール総合優勝 黄鳳誼 Asa Huang (アサ・ホアン)  
12:40 ▼ 13:25	A3 DEEP KYUSHU フードツーリズムの 取組みについて 学校法人中村学園顧問(前学長、九大名誉教授) 九州・沖縄フードツーリズム研究会 会長 甲斐 諭 		
13:45 ▼ 14:30	A4 AIを活用した価格戦略! Tabistのダイナミックプライシングとは? Tabist 事業開発本部 本部長 森山 徹	B4 Booking.comが 見据える AI時代のOTAと Authentic Japan Booking.com Japan株式会社 営業本部長 信濃 伸明 Booking.com Japan株式会社 関東中部地区・ 西日本地区統括部長 川尻 泰生  	
14:50 ▼ 15:35	A5 温泉宿の未来像 ～北海道の魅力と人の力で 実現する持続可能な幸福～ 一般社団法人 日本旅館協会 会長 由布院玉の湯 桑野 和泉 九州旅客鉄道株式会社 執行役員 事業開発本部 ホテル事業部長 浜田 真知子  	B5 【宿泊施設向け】 "たった30分でできる" 今どきのインターネット戦略 株式会社CS-C 社長室 松井 洵弥 	

Hospitality & Food Week in 九州・沖縄 出展者プレゼンテーションセミナー

延べ **190** 名

(敬称略)

9月17日(水)

9月18日(木)

10:30 ▼ 11:15	C1 リネン業者からの相次ぐ値上や取引の終了など リネン問題の解決策 今、話題の次世代型内製リネン工場とは!  ビクター商事株式会社 Victor trading ビクター商事 顧問 吉川 睦人	D1 ホテル業界新基幹システム『HOS』による客室清掃イノベーション ～省力化された組織体制でCSスコアを最大化するためのハウスキーピングDXとは～  EDEYANS 執行役員 グロース本部 本部長 大月 北斗
11:35 ▼ 12:20	C2 ホテル業界新基幹システム『HOS』による客室清掃イノベーション ～省力化された組織体制でCSスコアを最大化するためのハウスキーピングDXとは～  EDEYANS 執行役員 グロース本部 本部長 大月 北斗	D2 フロント業務の省人化・無人化を実現! ウォレットを活用した新しい宿泊施設運営  構造計画研究所 KOZO KEIKAKU ENGINEERING INC. 構造計画研究所 すまいIoT部、営業担当部長 兼 市場開拓室 室長 池田 修一
12:40 ▼ 13:25	C3 ネクストリーダーズ 12:50～15:30(予定) 宿泊業界必見! 業界の今後を担う20～30代の若手が 企業の枠を超えて集結! 業界の課題解決のため 新たな提言を発表いたします! A班 No Zangyou Days B班 マーレータン C班 Miuws(ミューズ) D班 Absorb-きゅうしゅう- E班 ELEVATE F班 High Five	D3 【飲食店向けセミナー】 グルメサイト依存からの脱却! 飲食店が今やるべきSNS×Googleマップ集客術  イクシアス マーケティング・セールス室 室長 遠藤 啓成
13:45 ▼ 14:30		D4 無人化で実現する次世代ホテル経営: 省人化と収益最大化の両立  エアホスト テクニカルセールスマネージャー 藤嶋 優貴
14:50 ▼ 15:35		D5 “1人3役”が回る現場へ: フロントに縛られないマルチタスク運用で 実現する宿泊業の生産性向上  aipass 代表取締役 山田 真由美

企画展示のご紹介

●企画展示「農業イノベーション」 A-06

参加企業

【プロダクトソリューションエンジニアリング】



ブロッコリーの花蕾サイズを自動計測し、花蕾サイズの選別収穫が可能な選別自動収穫機をご紹介します。この収穫機は、2028年から産地への供給開始を目指して開発中です。

国産ブロッコリーの大半を占める青果市場向けブロッコリー生産圃場において、出荷に適したサイズの花蕾だけを選択して自動収穫することが可能となります。私たちの収穫機では、AIを搭載した花蕾検出システムを備え、花蕾サイズの選別をした上で、人手による収穫作業と同様に外葉カット、茎カット、花蕾回収を自動で行えます。現在は生産圃場を中心に、使用環境に応じた技術検証とプロトタイプでのシステム実証、全国の複数産地での機械化体系を前提とした実証試験を進めています。

この開発プロジェクトは農林水産省の「スマート農業技術活用促進法に基づく開発供給実施計画」に認定され、「令和6年補正予算スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の委託を受けて実施しています。

【株式会社システム計画研究所】

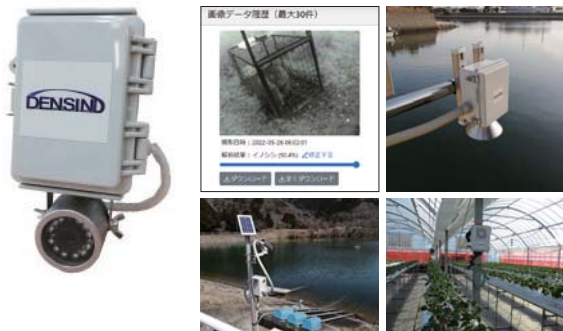


畑ごとの健康診断を通じて、土壌病害の発生リスクを事前に評価し、最適な対策を実施する病害管理「HeSoDiM(ヘソディム)」と、それを支援するAIアプリ「HeSo+ (ヘソプラス)」を出展します。

従来の地域単位の防除暦に基づく病害対策は、個々の畑にとっては過剰な農薬使用になることもありました。HeSoDiMでは、播種前に畑ごとに診断を行い、病害の発生リスク(発病ポテンシャル)を評価、必要なだけの対策を講じることで、効果的かつ低コストな病害管理を実現します。これにより、生産性の向上と収益性の改善を目指します。

HeSo+は、土壌分析や栽培履歴などの情報をもとに、AIが畑ごとの発病ポテンシャルを診断・予測し、そのレベルに応じた対策技術を提案するWebアプリです。写真や病害の発生状況の記録を共有できるため、生産者と指導員の間で情報をスムーズにやり取りし、協議や意思決定を支援するコミュニケーションツールとしても活用できます。

【電信】



自社開発のIoT通信システム、クラウドシステムを利用した製品を主に展示。

- ・害獣捕獲監視カメラ、害獣捕獲監視・通知センサ、常時監視カメラシステムの実機展示。害獣捕獲のDX化を推進。
- ・IoT水位監視システム(超音波センサ・水圧センサ)、IoT雨量観測システム、ビニールハウス内環境モニタリングシステムの御紹介。
- ・クラウドシステムの製品として、害獣目撃情報システム、害獣捕獲システム「ハンダーレコード」の御紹介。

【グリーン株式会社】



【儲かる】e-kakashilは、センサーで収集した環境データに加え、気象・生育データをもとに、「今、何をすべきか」の判断に役立つ分析結果を提供する農業向けのAIサービスです。初年度から増収増益が達成できた事例が多数あります。

【簡単分析】導入したその日から、植物科学の知見を積んだAIによる「植物が環境ストレスを感じているかどうか」「いつごろ収穫適期か」「病害虫の発生リスクが高まるのはいつか」などをお知らせするアラート機能が多数使えるから。単純に環境データの見える化にとどまらず、栽培の判断に使える形で分析結果が見える化できるのが特徴です。生育環境を整えることで生長が促され、生産性を高めつつ秀品率の維持・向上が目指せます。さらに生育記録とセットで分析すると、現在の環境や生育を診断し、アドバイスする機能もあります。

【簡単設置】デバイスにセンサーをつなげて電源を入れるだけで、自動でデータ計測が開始されます。面倒な通信専用の工事也不要です。施設はもちろん、防水防塵、ソーラーパネル付きの充電電池内蔵モデルなので、電源につなげることなく露地でも使えます。

企画展示のご紹介

参加企業

【株式会社MOGITATe】



MOGITATe(モギタテ)は、地域の活性化と持続可能な農業を目指し、スマート農業の普及とビジネスの成長を効率的かつ実践的に支援するコンサル会社です。

国・自治体を含めた豊富なネットワークと実績により、最先端の農業技術の導入に関するアドバイスや、農業マーケット参入プランの提案を行います。さらに、ブース展示会やデモ体験会などのイベントを全国各地で企画運営し、最新技術を実際に体感し、スマート農機・サービスの提供側と生産者が商談できる場を提供します。

また、地域のニーズ・課題に応じたセミナー講師の派遣や先進地域の視察ツアーの実施を通じて、参加者が具体的な導入例を学び、農業の未来を広げるきっかけを作ります。九州アグロ・イノベーションでは、これらの取組を具体的に紹介する予定です。

【株式会社DEN農】

株式会社DEN農は、スマート農業を起点に地域課題の解決を目指す地域型スタートアップです。行政や大学、アグテック企業と連携し、企画から実装までを支援するワンストップサービス型の伴走支援を行っています。

私たちは「アグリインサイトエキスパート」として、アグテック企業に対して実地試験圃場の提供や専門的なアドバイスをを行い、農業ビジネスの社会実装を支援しています。展示会では、IoT、AI、ドローンなどを活用したスマート農業の導入事例や、離島・中山間地域での地域づくりの取り組みを紹介し、持続可能な農業の未来像を提案します。

【UECS研究会】



出展製品の名称: ユビキタス環境制御システム(UECS) 対応スマート温室制御技術



UECSは、日本で開発された施設園芸向けの自律分散型環境制御システムです。温室内のセンサーや制御機器をネットワークで接続し、共通規格に基づいて協調動作させることで、温度・湿度・CO2濃度・日射量などを最適に制御します。通信規格はインターネットと同様で、拡張やカスタマイズが容易です。

低コストなオープンソースハードウェア(Raspberry Pi, Arduino)を活用し、中小規模施設でも導入可能なシステムを提供します。省力化・省エネ・高収益化を実現するスマート農業の基盤技術です。

【株式会社アグリツリー】



当社は、農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、下部で農業継続を可能にするソーラーシェアリングのコンサルティングとEPCを提供しています。以下の特徴を持ちます。

【ハード】・細型パネルを用いて十分な設置間隔を確保しており、作物への影響を最小化できます。・温室ハウス一体型のソーラーシェアリングもご提案できます。

【ソフト】・全国での導入実績により、最適な設計と適地適作の提案が可能です。・農業者・地域・電力需要家と連携し、収益分配モデルをご提供します。・農業収益と発電収益のダブルインカム化によって、農業の持続可能性向上を促します。

【株式会社テムザック】



当社では、2023年より自らも稲作を行いながら農業用ロボットの開発を行っています。

特に中山間農地など、小規模・変形・アクセス困難な圃場でも利用しやすいロボットを発表してきました。・設備・設備・設備・設備「収量が多少落ちて、それを上回る省力化によって、稲作の継続ができるロボット」をコンセプトに、中山間農地の維持に貢献したいと考えています。

当社の雷鳥シリーズや愛知県と共同開発中の条間除草ロボットなど、これまでに開発した省力化農業への貢献をめざすロボットを展示します。

また当社では、ロボットの開発のみならず、ロボットの貸出や農作業支援、生産した米の買取など一連のサービスを提供するプラットフォームの実現もめざしています。農業ロボット開発について連携協定を締結した宮崎県延岡市での取り組みに加えて、九州および他地域との実証も今後進めていく予定であり、そのサービス構想についても展示します。

企画展示のご紹介

●「最新のスマート農業技術関連情報」 パネル展示 A-03

協力：農林水産省



無人ロボットコンパイン

ロボット技術でICTを活用し、無人で作業を行うことができる農業用（R）のコンパインで、農家の負担軽減と作業効率の向上に貢献します。
(※) 2023年より実用化予定



(株式会社カワチ)

ほ場水管理システム

水田の水管理をスマートフォンのアプリでモニタリングしながら、最適な水管理を行うことができるシステムです。



(株式会社カワチ)

自動走行トラクター

農家の負担軽減と作業効率の向上に貢献します。無人で作業を行うことができる農業用（R）のトラクターで、農家の負担軽減と作業効率の向上に貢献します。



(株式会社カワチ)

農業散布ロボット

農家の負担軽減と作業効率の向上に貢献します。無人で作業を行うことができる農業用（R）の散布ロボットで、農家の負担軽減と作業効率の向上に貢献します。



(株式会社カワチ)

キュウリ収穫ロボット

レールを走行して移動し、AIが収穫適期の作物を判断し、自動で収穫を行います。スマート農業の発展と農家の負担軽減に貢献します。



(株式会社カワチ)

アスパラガス収穫ロボット

アスパラガスを自動で収穫する農業用ロボットです。AIが収穫適期のアスパラガスを判断し、自動で収穫を行います。



(株式会社カワチ)

バイオマス向け 統合環境制御システム



作業車両とほ場管理システム

農業用車両の位置と作業状況をリアルタイムでモニタリングしながら、最適な作業を行うことができます。



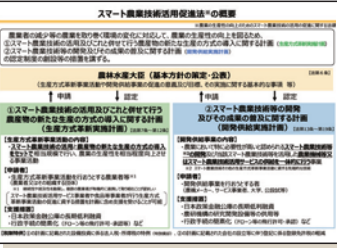
(株式会社カワチ)

牛の管理システム

牛の健康状態と行動をリアルタイムでモニタリングしながら、最適な管理を行うことができます。



(株式会社カワチ)



企画展示のご紹介

●「スタートアップエリア」 A-04

農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター
スマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA)
福岡県農林業総合試験場
農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
五條吉野柿生産スマート化コンソーシアム
九州大学農学部農業生産システム設計学研究室

参加企業・団体

【農業・食品産業技術総合研究機構】

多点多項目計測システム



このシステムは簡素で低コストな構造で栽培施設内の環境を計測し、計測値をネットに配信する機能を持ちます。現在久留米事業場でキュウリを栽培する高軒高ハウス内の192点で温度・日照を計測し、計測値をインターネット上のデータベースに送信しています。

計測点は栽培ベッドごとに水平・垂直方向に0.5m間隔で設置され、1秒ごとの計測・配信が続いています。配信された計測値はスマホなどで受け取ることもできます。久留米のほかにも合志や宮崎市など九州各地で設置・計測した実績があります。

【イチゴパックロボコンソーシアム】

イチゴパック詰めロボット

イチゴの出荷調製作業は熟練を要すること、15℃以下の低温下での選別作業を長時間強いられる過酷な労働環境や高齢化等により人手不足等が課題になっています。

そこでこれらの問題を解決するため、収穫箱内のイチゴの位置と向きをAIにより自動判定し、独自のロボットアームを用いたソフトハンドリング機構でイチゴを傷つけることなく重量別に選別して、自動でパック詰め作業を行うロボットを開発しました。ロボットは1時間あたり12kg程度の処理能力を有し、1.5～2人の省力化が可能です。なお、本年度より上市予定です。



【スマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA)】

IPCSA

スマート農業イノベーション推進会議
Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture

スマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA、イプサ) は、農業者を中心に、民間企業、教育機関、研究機関等の多様なプレーヤーが参画する協議会です。

【五條吉野柿生産スマート化コンソーシアム】

自動灌水システム (仮)

独自の通信方式を採用し、中山間地域で“繋がる”LPWAN (Low Power Wide Area Network) を利用した自動灌水システムです。

伝達距離100kmの通信チップを採用し、集落にある1つの基地局から、圃場に設置した子機を介して、中山間地域全体に広がるメッシュネットワークを構築できます。子機はソーラーパネルで稼働し、1台で最大2個の電磁弁を開閉できる仕様です。



また、子機には機能拡張ポートも実装されており、各種環境センサーを取り付ければ、圃場の気温や湿度、土壌水分量などをほぼリアルタイムで取得することも可能です。将来的にはエッジAIで圃場で撮影した画像を診断して灌水判断情報を提供するなど、AI活用にも対応していきます。システムの操作はスマートフォンから可能で、灌水予約の他、圃場の気温などの表示や灌水の目安、収穫のピークや量の予測情報などを提供します。

【福岡県農林業総合試験場】

振動を利用した害虫防除について

果菜類の施設栽培における微小害虫の防除では、薬剤抵抗性の発達が問題となっており、化学農薬に依存しない害虫の物理的防除技術の開発が求められています。



これまでの研究により、トマトの難防除害虫であるコナジラミ類は特定の振動に対して忌避行動を示すことや交尾行動が阻害されることが明らかとなっています。そこで開発されたのがトマト等の植物体に一定の振動を伝える磁歪式振動装置です。磁歪式振動装置の内部にはコイルと振動素子が内蔵されており、コイルに交流電流を与えることで磁場が周期的に変化、振動素子の上下に曲がる動作が連続し、振動が発生します。これにより、狙った振動周波数を瞬時に発生させることが可能となります。

施設栽培のトマトでは、直管パイプやビニール紐リールなどの誘引資材を用いて誘引することが一般的であるため、磁歪式振動装置は一般的な直管パイプ (直径約20mm) に取り付けられる構造となっており、誘引資材を通してトマトに振動が伝わります。

本研究では、100Hzで日中断続的 (7-18時に15分おきに1分間、1秒間振動持続し9秒停止) に振動を与えることによるタバココナジラミ密度抑制効果を検証しています。

【九州大学農学部農業生産システム設計学研究室】

ブースでは以下の内容を紹介いたします。

1. コビキタス環境制御システム (UECS) を用いた園芸施設の環境制御
2. 植物の水利用状況を把握するための排液量センサー
3. 植物の生育状態をセンシングする計測ロボット
4. 植物画像から生育特徴量を抽出するフェノタイプング技術



コビキタス環境制御システム (UECS) を用いた園芸施設の環境制御の様子

来場動員活動

展示会招待状およびポスター配布活動

1) 各出展企業から配布活動 1ブースにつき100部 ※追加無料

2) 事務局から配布活動先(予定)

- ・ JA、生産者、日本農業法人協会正会員企業・生産者(九州・中四国ほか)、普及指導センター、都道府県農政担当部課・流通施設整備担当部課、6次産業化取組企業、JGAP認証農場、有機JAS認定農業者、畜産／酪農、水産、小売、各研究機関、各大学農学部、各農業大学校、農業高校(九州・中四国ほか)
- ・ 過去の来場者「アグロ・イノベーション九州ならびに東京」
- ・ 日本能率協会が主催する他の展示会の来場者および教育研修の参加者(農業、水産業、食品、宿泊、外食、物流、機械関連ほか)
- ・ 同時開催「Hospitality & Food Week in 九州・沖縄」の関係者(宿泊・外食・小売ほか)



九州アグロ・イノベーション／九州みどりの食料システムEXPO 2025 案内状



ポスター A2サイズ

メール配信による動員活動

本展をはじめとした日本能率協会が主催する関連展示会の過去来場者を中心に、展示会の案内メールを延べ72万件配信した。

業界団体他による来場動員協力

- ・ 日本農業法人協会によるご配布協力およびメルマガ配信(約1,000件)
- ・ 委員・講師のみなさまを通じてご招待状のご配布
- ・ 農協観光九州支店
団体バスでの入場の告知協力(無料駐車場および特典をご用意)

広告・WEB 広告掲載・ラジオ広告

各種媒体へ来場のバナー広告を掲載。

- ・ 9月17日 西日本テレビ放送
- ・ FM福岡ラジオ広告
 - ・ 9月9日(火) 朝の生ワイド番組「MORNING JAM」枠
 - ・ 9月11日(木) Hyper Night Program GOW枠



来場動員活動

報道・記事掲載

- ・8月21日 日本農業新聞1面



- ・8月27日 日本農業新聞
「9月17日から福岡市で
資材・技術一堂に」



- ・9月10日 日本農業新聞
「日農ニュースPlus」



- ・9月18日 日本農業新聞
「農業の新技术競演」



- ・9月19日 日本農業新聞
「和牛に合う日本茶・カクテル
新たな味わい提案」



- ・9月17日 スポーツニッポン九州版
TV欄



- ・9月25日 日本農業新聞
「不耕起V溝直播栽培対応
有機後押し除草ロボ」



ニュースリリースの発信

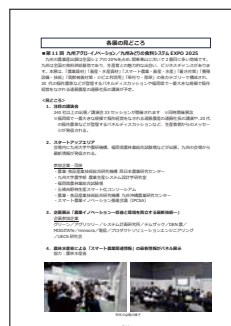
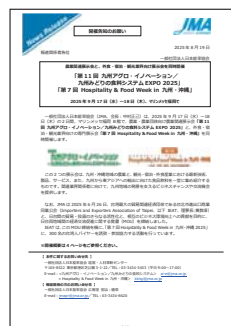
テレビ関係者・報道関係者・メディア関係者向けに
発信。

無料駐車場の用意

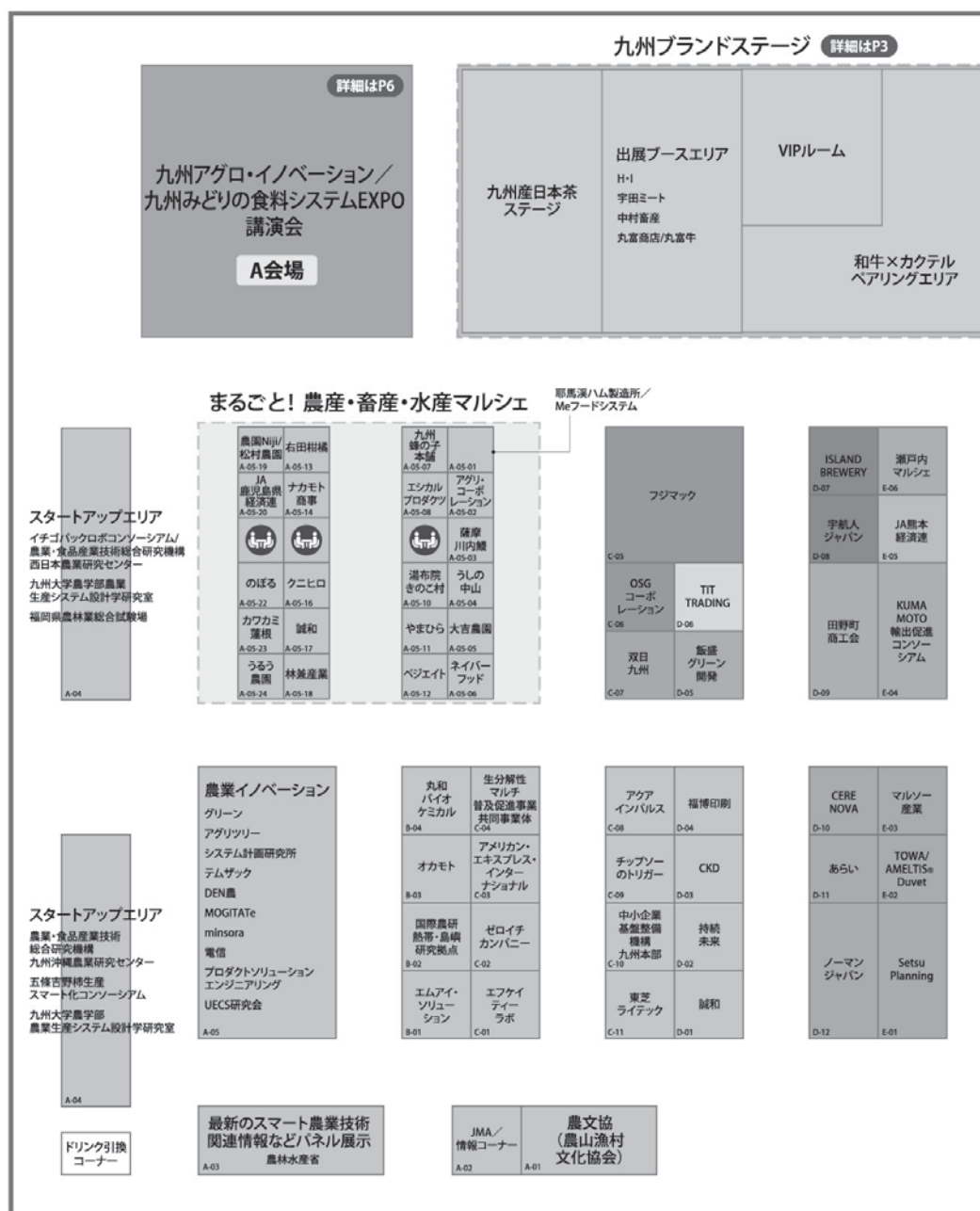
第4駐車場
約300台駐車スペースを用意。

無料バス運行の実施

会場とJR博多駅を往復する無料シャトルバスを
運行した。



会場図



九州・沖縄の旅館・ホテルが選ぶ地域の食パビリオン

高橋酒造 L-29	池亀酒造 L-26	ゴチ食品 L-27	美咲 L-28	和田萬 L-29	日本食研 L-30	こたまり クラフト フード L-31	ドリンク引換 コーナー
ハニー				ドリンクZyooジョー			
弱アルカリ天然水[リセットタイム]				宇治茶新展開プロジェクト協議会			
紅乙女 酒造 L-24	神楽 酒造 L-23	西吉田 酒造 L-22	雲海 酒造 L-21	KUICO KEBABU L-16	DOLLIE L-15	フンドー キン醤油 L-09	ニビシ 醤油 L-10
同本 酒造 L-18	宮好 L-20	CORTESE L-19	ワイエス フード L-14	グローバル フィッシュ L-13	朝食 調味料 L-11	フンドー ダイ L-12	エスジー エス L-01
						岩間園製 茶本舗 L-07	タビオカ ワールド L-02
						サンダイ L-06	糸島みるく ぶらんと L-03
						同本自然の 恵み総本舗 L-05	こもれび L-04

Hospitality & Food Week in 九州・沖縄 主催者セミナー

B会場

Hospitality & Food Week in 九州・沖縄 出展者プレゼンテーション セミナー

C会場

鹿児島県	ショク リュウ/ うおいち F-04
	新栄丸 F-03
E-07	九州 アルプス 農工会
ウィル F-08	F-02

友対外科	ショウエイ G-06
GFP 農林水産物・ 食品輸出 プロジェクト F-08	JMA G-05
ピーチ ツリー・ フーズ・ ジャパン F-07	グランツ G-04

ワールド ニックス G-07	mov H-04
近畿日本 ツーリスト 商事 G-08	シモンズ G-09

エア ホスト I-07	障壁 コネク I-06
ナバック I-05	Tabist I-04

ジェーシーエム 総販売店 シグマ・ リテールデック I-08	KEYVOX/ Blockchain Lock J-08
コニカ ミノルタ I-09	CS-C J-07
ダイブ (宿泊・外食 専門人材 サービス) I-10	キャディ シュ J-06
aipass I-11	アクティ バリュース J-05

ケイティ エス J-09	ピクシー ダスト テクノロ ジーズ J-10
ルーツ J-11	HOTEL SMART J-12

OMIYA CONNECT E-09	コトブキ シー ディング F-01
ウォーター スタンド E-10	

マイン F-08	けしき G-03
wash- plus F-09	イプロス G-02
風壁 セコロ F-10	内野 G-01

熊本 エナジー G-10	ビクター 商事 H-03
山本 製作所 G-11	アサショウ H-02
	ケー アンド イー H-01

ビジネス プレーン H-07	イクシアス I-03
EDEYANS H-08	ラテラル・ シンキング I-02
	Vingcard by ASSA ABLOY Global Solutions I-01

ネットス ジャパン I-12	シンシア インター ナショナル J-04
日本 リテイル システム I-13	Check Inn J-03
第一興産 I-14	バリュー コマース J-02
	スマート オーダー J-01

Trust You J-13	グッドマン サービス J-14
	USEN- ALMEX J-15

アゴダイナミクス国際展

ホテル・旅館 WEB集客支援委員会 K-06	スマイル 企画 K-05	アメリカン・ エクスプレス K-03
------------------------------	--------------------	--------------------------

コンペイトウ 王国 K-02	香老舗 松栄堂 K-01
----------------------	--------------------



来場登録企業・団体(抜粋)

(順不同)

にじ農業

ツバキベジムーブ
九州アグリコール太良
カネタ
阿蘇J・Hファーム
福岡八女農業
みい農業
全国酪農業連合会
エフコープ生活
のこベジファーム
クボタアグリサービス
おひさま総合研究所
農林中央金庫
遠藤農産
唐津農業
日本園芸農業連合会
とことんファーム
田代農園
日米ユナイテッド
いちごボタジェ
ファームなかがわち
弥永農園
川辺農園
七夕の里小郡環境保全米研究会
国光産業
みらいの畑から
河野FARM
CARTA ZERO
やない
フレデリッシュ
アグリラボ
サンフィールズ
瑞穂
八女いちごファーム
山口園
エイテックス
ミツウロコグループホールディングス
久保田農園
吉田菜果園
ベジハート
IZUMOJP
みやび農園
谷川農園
MURAISHI
大地のいのち
農家
二宮農場
T.G.F
NJアグリサポート
エネキャスト
山口農園
福澤農園
おやさい828

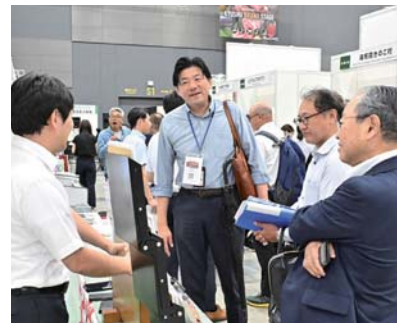
中島農場

しもむら農園
minori
泉屋六治
祥栄
JAうすきたまごファーム
クロレラ工業
食肉通信社
イシイ
シムコ
阿蘇J・Hファーム阿蘇
ザ・ブリッジ
KOGA ホールディングス
JAファームサポート
宇佐屋
小川水産
住徳水産
金子産業
北洋海産
九州農水産物直販
ヤマシタアグテム
山正
大石産業
加茂川啓明電機
新出光
三菱商事
長瀬産業
ヤマエ久野
タキイ種苗
林兼エスト
シーアルファ
宝来メデック
一村産業
菅野包装資材
森田物産
ハート
ニッシリ
草野産業
ニシイ
サンワ福岡
千邦
久保商事
王子木材緑化
イートジャパン
Raydz
岡本無線電機
KISCO
九酸
一色本店
大阪ヒカリ
カネカ食品
佐賀県食糧
マツイ

東亜電気工業

福岡大同青果
ビジネスバンク
日建リース工業
富山薬品工業
ホンダトレーディング
西日本ラジオ
ムラキ
フジサニーフーズ
伯東
丸菱北部九州販売
東京紙パルプ交易
welzo
オカモト化成品
福岡生科研
三研
福岡誠水
福岡丸本
中外
シーアイマテックス
田中三次郎商店
太平洋貿易
ヴェルデ
elapla global
日建リース工業
山陽薬品
ゼロイチカンパニー
justa
日野出
GSIクレオス
越智産業
福岡中央青果
三菱商事パッケージング
槌屋
丸進青果
双日九州
ゆうびえん
中央物産
エスエス産業
リックス
マスダ
三井物産
宏栄
福岡大学
久留米工業高等専門学校
トラフグ未来ネットワーク
秋田県立大学
アグリライト研究所
リエゾンオフィス
鹿児島県農業開発総合センター
トライローグ
3in
コープ九州

会場写真





お問合せ先

九州アグロ・イノベーション／九州みどりの食料システムEXPO 事務局

一般社団法人 日本能率協会 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL:03-3434-3453 FAX:03-3434-8076 MAIL:ai-e@jma.or.jp

<https://agri-food.jma.or.jp/kyushu/>

九州アグロ

